

②都市農村交流等の取組

本事業で現況保全された西風地区にある内田ため池は、池直下の農業体験田の水源として利用されている。

この農業体験田では、岩手大学のため池サークル「IKE-ike」の女子学生が伝統の衣装（通称：早乙女隊）で田植をしたり、集落での収穫祭を行っており、ため池を核として文化・伝統の継承や、世代・集落を超えた交流が実現している。このような取組が評価され、平成22年に農林水産省のため池百選に選定されている。



胆沢平野土地改良区では、管内の農業水利施設や地域の水利歴史遺産、農村景観、直売所等を活用した農村振興を目指して、田園風景を囲むように巡るルートを回廊に見立て、“皆”の参画を意味する表現として「皆廊」と称して「水土里の皆廊プロジェクト」を開催している。「皆廊」には、本地区内の「いさわ産直センターあじさい」も位置けられており、令和元年度は7月26日から11月4日までの開催期間で延べ22,661人が訪れている。



スタンプをつく子供達



寿安堰で400年前に
思いを馳せる皆悠者

本事業に実施により農業基盤が整備され、美しい農村環境や景観が維持されている。本地区内の小山地区、若柳地区において散居集落の美しい農村景観を活かし、修学旅行等で農家民泊による農村生活体験、自然教室等の受け入れを行っている。

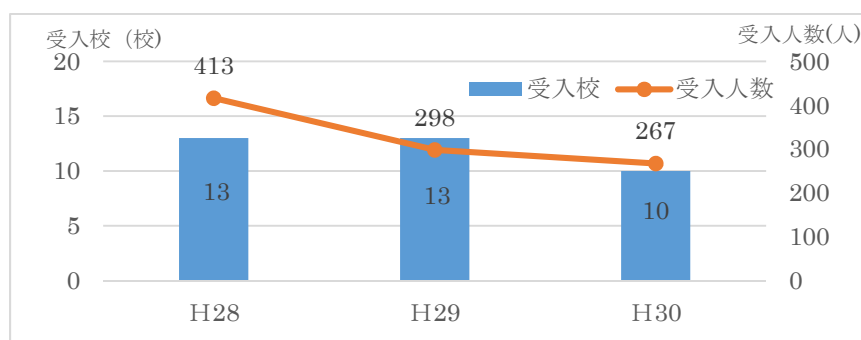


図 農泊の実施状況

資料：奥州市調べ

(4) 事後評価時点における費用対効果分析結果

費用対効果分析の算出基礎となった要因の変化、効果の発現状況をふまえ、事後評価時点の各種算定基礎データを基に総費用総便益比を算定した結果、以下のとおりとなった。

総便益	103,441百万円
総費用	99,573百万円
総費用総便益比	1.03

(参考) 効果算定項目

効果の発現状況をふまえ、事後評価時点の各種データに基づき年効果額を算定した。

効果算定にあたっては、事業計画策定時点に見込んだ効果項目のほかに、評価時点において新たに発現している効果についても算定した。

効果項目	計画時点	評価時点
作物生産効果	○	○
品質向上効果	○	
営農経費節減効果	○	○
維持管理費節減効果	○	○
営農に係る走行経費節減効果	○	○
耕作放棄防止効果	—	○
更新効果	○	
一般交通経費節減効果	○	○
非農用地等創設効果	○	○
安全性向上効果	○	
文化財発見効果	○	○
公共施設保全効果	○	
水辺環境保全効果	○	
農道環境整備効果	○	
都市・農村交流促進効果	—	○
国産農産物安定供給効果	—	○

更新効果、安全性向上効果、公共施設保全効果、水辺環境効果、農道環境整備効果は、効果算定方式の改定により算定項目から除外されたため算定しない。

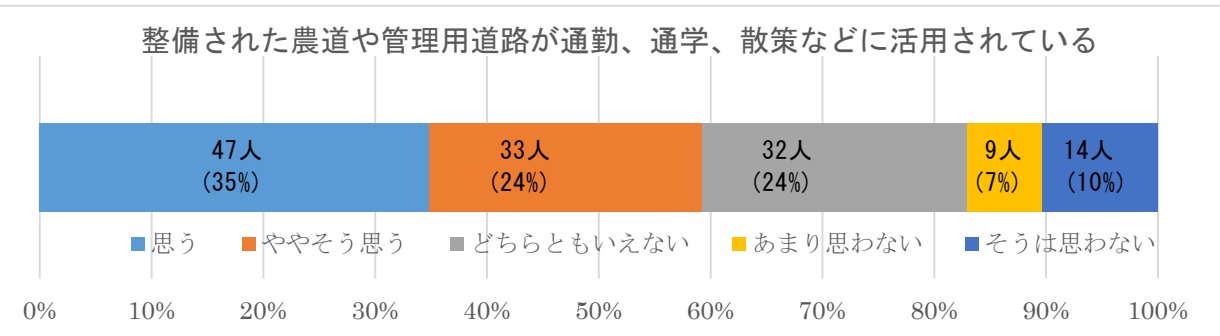
5.事業実施による環境の変化

(1) 生活環境

本事業で整備された幹線道路（1号、2号、3号）は、生活道路としても利用されている。本路線を利用することで、県道や国道へのアクセスが容易になり、地域住民の通勤・通学、買い物等の利便性が向上している。

アンケート結果では、「事業の実施による自然環境や生活環境への影響」の問に対し、6割の方が「整備された農道や管理用道路が通勤、通学、散歩などに活用されている」と回答しており、本事業で整備した道路が生活道路としても利用されている。

□「事業の実施によりあなたの周りの生活環境や自然環境にどのような影響があったと思いますか」の問に対する回答結果



資料：東北農政局北上土地改良調査管理事務所「事後評価アンケート調査」
(回答数：135人)



スクールバス待合所



幹線道路

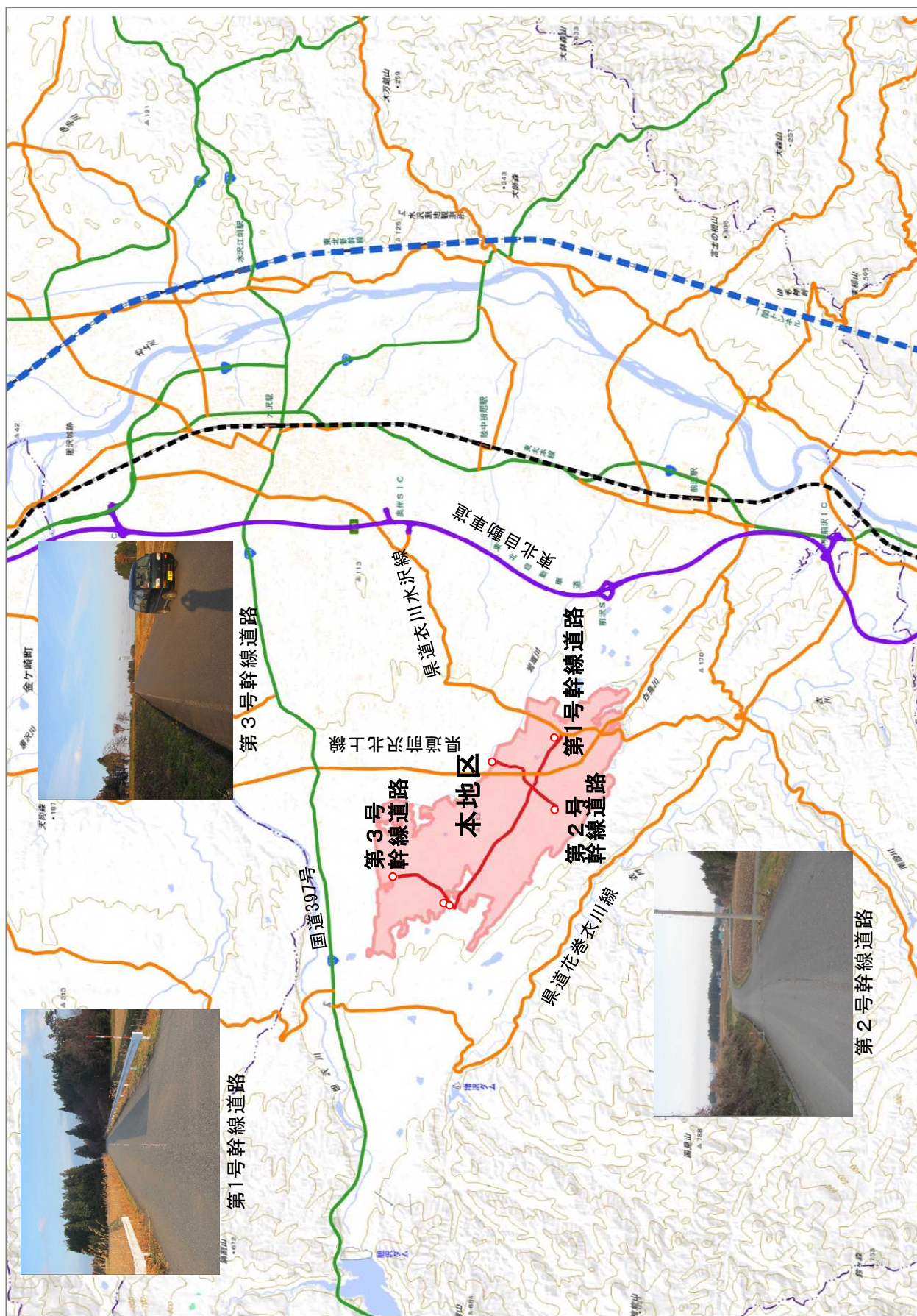


図 幹線道路位置図

(2) 自然環境

本地区の環境配慮は、環境配慮検討委員会等の議論を踏まえ、各施設の保全対策を検討したうえで実施されたものであり、原川排水路の上流部では改変を最小化し、魚類の移動に配慮した落差工を階段式にするほか、複数箇所に魚巢ブロックの設置等を行い、下流部では改修を行わず現況保全することで環境に配慮した施設整備を行った。

整備された排水路におけるモニタリング調査結果では、ギバチやスナヤツメ類等の保全対象生物が事業実施後も確認されており、排水路における魚類などの生息環境が保たれ、おおむね効果があったものと考えられる。



ギバチ



スナヤツメ類

○ 原川排水路における調査結果

No.	分類群	科名	種名	H16	H17	H18	H28	H29	R1	備考
1	魚類	コイ	キンブナ	○	○	○				重要種
2			ギンブナ	○	○	○	○	○		
3			オイカワ	○	○	○	○	○	○	外来種(国内)
4			アブラハヤ	○	○	○	○	○	○	
5			モツゴ	○	○	○	○	○	○	外来種(国内)
6		ドジョウ	ドジョウ	○	○	○	○	○	○	重要種
7			ヒガシシマドジョウ	○		○	○	○	○	
8		ギギ	ギバチ	○	○	○	○	○	○	重要種
9		ハゼ	トウヨシノボリ類	○	○	○	○	○	○	
10		ヤツメウナギ	スナヤツメ類		○	○	○		○	重要種
11	貝類	イシガイ	ヨコハマシジラガイ		○			○	○	重要種
12		シジミ	マシジミ	○	○	○	○	○		
13	甲殻類	ヌマエビ	ヌカエビ	○			○	○	○	
14		サワガニ	サワガニ	○	○	○	○	○	○	
種計				12 種	12 種	12 種	12 種	12 種	11 種	

資料：東北農政局農村振興部農村環境課調べ